

やって来た台風シーズン

家屋などの補強は早目に

八月の声をききますと、例年どおり、いやな台風シーズンに入ります。

昨年、かつての伊勢湾台風のような大物がなく比較的平穩にすぎましたが、決して油断は禁物です。いつ大きな災害がやってくるかもわかりません。

台風期に備えて私たちは常に十分な心構えをととのえておくことが大切です。

地形をよく確認しておく

地形をよく確認しておく

台風のなかで最もおそろしいのは、大水や高潮です。これに材木が流れてくるような事態が



加わると被害は更に増えてきます。そこであらかじめ海面や川の堤防の高さより低いところに住んでいる人は、堤防が切れた場合にはどうするかについて今からよく考えておきましょう。またガケの上や下に住んでいる人は、ガケくずれに十分注意して下さい。

避難場所の道順を覚える

避難する場所は、市の災害対策本部(市役所)であらかじめ決めてありますので、危険なところに住んでいる人は、避難場所へ至る道順をよく覚えておきま

排水をよくしておく

土地の低いところや川の付近では、下水溝をよくさらい、水の流れをよくしておきましょう

家屋やヘイを補強する

台風の圧力は非常に大きなものですから雨もりの個所はもち

避難命令が出たらあわてず係の指示に従う

避難命令が出ましたら係員の指示に絶対したが、まず老人子供、病人などを先にあわてず落ついて行動して下さい。そして次の点をよく守りお互

ろん、雨戸等も風に吹き抜かれたいよう十分に補強しておきましょう。

食糧や着替など用意する

非常袋のようなものに三日分ぐらいの食糧と着替の衣料や飲料水、ホータイ、ガーゼ、傷グスリなどの医薬品、懐中電灯、トランジスタラジオなどを用意しておきましょう。

- ①火の始末と戸締りを完全に
- ②女の方はストラップスカモン

べなど活動しやすいものを着用する。また頭きんか座布トンをかぶる。
③一人だけで行動せず、家族や近所の人がかたまつて避難する。子供は名札をつけ水にさわられないようにヒモで体をつなぎ合わせる。
④警察官や水防団員の指示に従い、早く安全な場所へ行き着くようにする。
⑤現金、貯金通帳、印鑑など大切なものは、しつかりとはだ身につけ、途中で出し入れしない。

給水工事は

市の指定工事人へ

市の水道の新設や増設、変更をはじめ取りこわしなどの給水装置の工事は、ことしから市が指定した業者(工事人)に一切の工事をまかせてやっていただいております。
まだ市民の一部には、いままでとおり市が給水工事をやっていると悪い工事の申込みがありますが前に述べましたとおり給水工事については市では受付しておりません。かならず市の水道指定工事人へ直接に申し込んで下さい。